

# トヨタ純正

## バックドアランプ

### 取付要領書

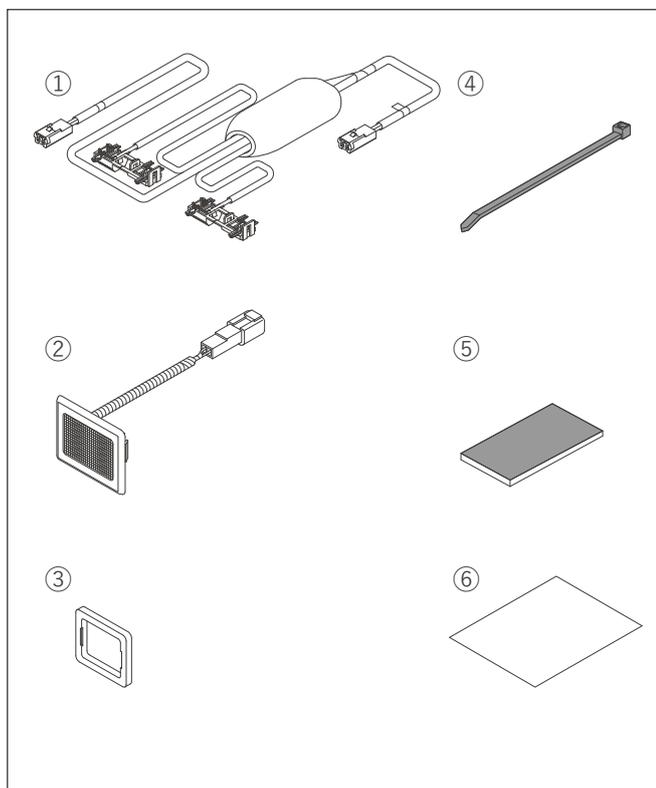
このたびは、トヨタ純正「バックドアランプ」をお買い上げいただきありがとうございます。  
本書は、「バックドアランプ」の取り付け要領について記載してあります。  
取り付け前に必ずお読みいただき、正しい取り付けを行ってください。

#### 品番

品番

0852D-42080

#### 構成部品



No.	品名	品番	個数
①	ランプハーネス	————	1
②	ランプAssy	————	2
③	スペーサー	————	2
④	クランプ	————	6
⑤	ウレタンフォーム	————	2
⑥	型紙	————	1

#### 取付に必要な工具等

一般工具、電動ドリル、ドリル(φ3.0)(φ6.0)、ホールソー(φ34)、各種リムーバー、ビニールテープ、保護テープ、ガムテープ、画鋸、ニッパー、保護メガネ、ウエス、脱脂剤等【イソプロピルアルコール(IPA)純度100%推奨】

# 始業点検

通常のキーによるエンジン始動・停止、ドアロック・パワーウィンドウ・灯火装置等の電気系統の作動確認を実施してください。

## 取付上の注意事項

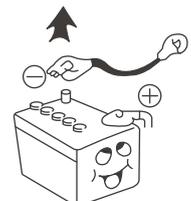
(1) この取付要領書では安全な作業をしていただくため、特にお守りいただきたいことを次のマークで表示しております。

⚠️ 注意	注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたりする等の恐れがあることを記載しております。
注意	注意事項を守らないと車両や装備品が破損する等の恐れがあることを記載しております。
👉 アドバイス	スピーディーに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しております。

- (2) 車両部品の取りはずしに際しては、タッピング・スクリューやボルト、ナット類を紛失しないよう部品毎に整理し、復元作業時には間違いのないよう配慮してください。また、車両及び取りはずした部品に傷を付けないよう取り扱いには充分注意してください。
- (3) バッテリー復元作業終了後に、車両システムによっては初期化が必要な場合があります。車両修理書を参考に初期化作業を行ってください。  
※車両システムの初期化には、GTS+等のツールが必要な場合があります。
- (4) ウレタンフォームの取り付け面に油脂分や汚れが付いていますと、脱落や剥がれの原因になりますので脱脂剤等で十分に拭き取り、使用される際は火気を近づけないよう充分注意してください。

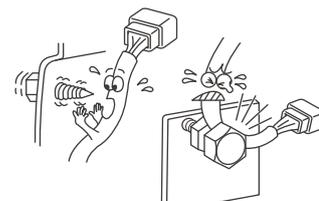
**取り付ける前に**

- バッテリーの(-)側ケーブルをはずす



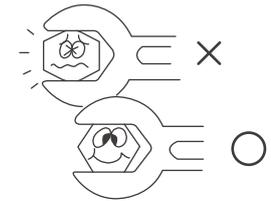
**裏側に注意する**

- ハーネスのかみ込みに注意



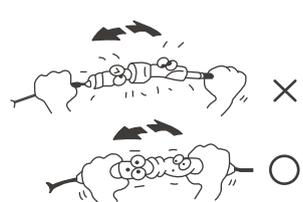
**部品の取り付けは**

- 寸法の合った工具を使う



**配線は**

- コネクタは本体を持ってはずす

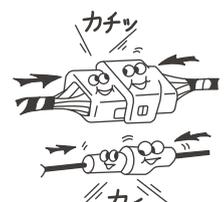


- ブラブラさせない



車両のワイヤーハーネスとまとめたり、クランプを使用して固定する

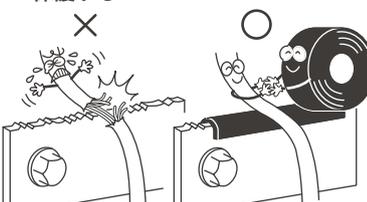
- コネクタは確実に接続



- 無理に引っ張らない



- バリ・エッジ部は保護シート等で保護する



- 防水処理を行う



防水OK

グロメットから配線する場合は、防水処理を完全にする

- 車両部品が確実に復元できるようなワイヤーハーネスを処理する



カチッ

フリップ

カチッ

**クランプは**

- クランプは締め過ぎないようにする

- 余った部分をカットする

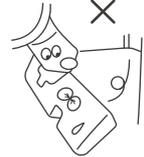
- カットした末端が他のハーネスと接触しないように注意する

- コネクタを異音がしないようにクランプする



**取り付け完了後は**

- 車両部品は確実に復元する





カチッ

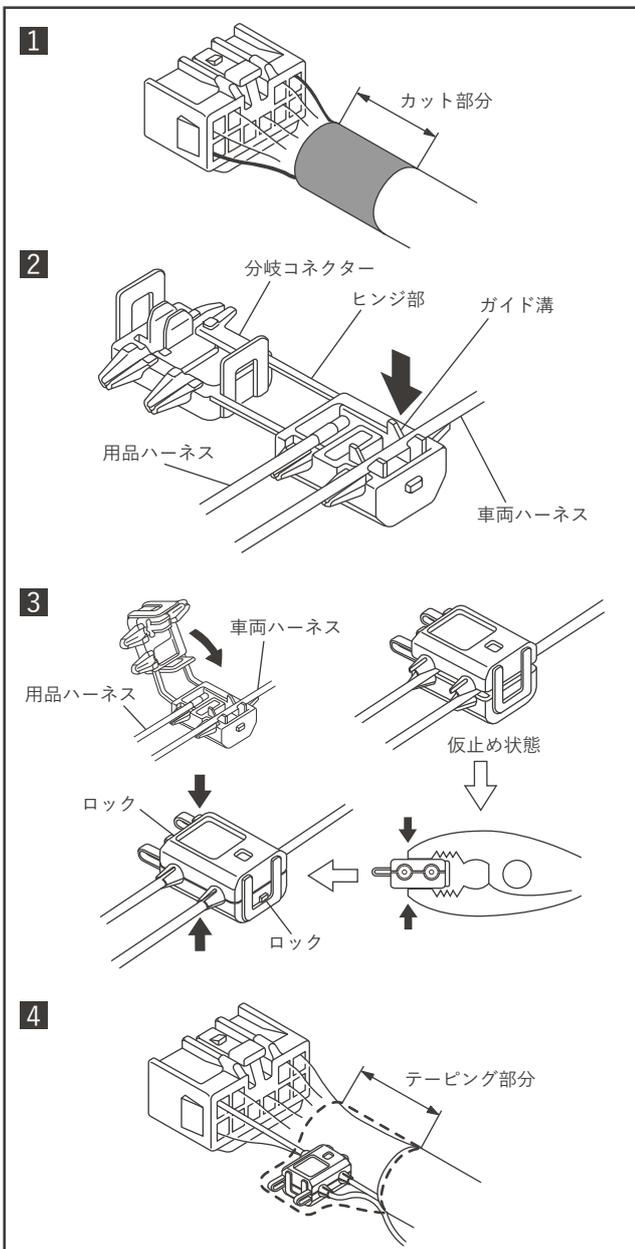
⚠️ 注意  
バッテリー接続中に作業を行う場合は、エアバッグセンサー等に衝撃を与えないよう充分注意してください。

## 分岐コネクターの接続方法

### 分岐コネクター使用上の注意事項

- (1) 車両のビニールチューブ等をカットする際は、車両ハーネスを傷付けないよう充分注意してください。
- (2) 分岐コネクターは、他の用品が装着されている場合でも、必ず車両ハーネスに接続してください。
- (3) 分岐コネクター接続時に、クリック音と合わせてロック(2ヶ所)が確実にかん合した事を確認してください。
- (4) 接続するコネクターの端子番号および、用品ハーネスと車両ハーネスの線色を確認し、誤った接続をしないよう充分注意してください。
- (5) 同一コネクターに複数の分岐コネクターを接続する場合は、接続位置をずらしてください。
- (6) ヒンジ部が破損しても、確実にロック(2ヶ所)できれば性能上問題ありません。
- (7) 一度使用した分岐コネクターは再使用しないでください。誤って接続した場合、分岐コネクターを車両ハーネスに付けたまま用品ハーネスを切断し、ビニールテープで絶縁処理してください。

### 分岐コネクターの接続手順



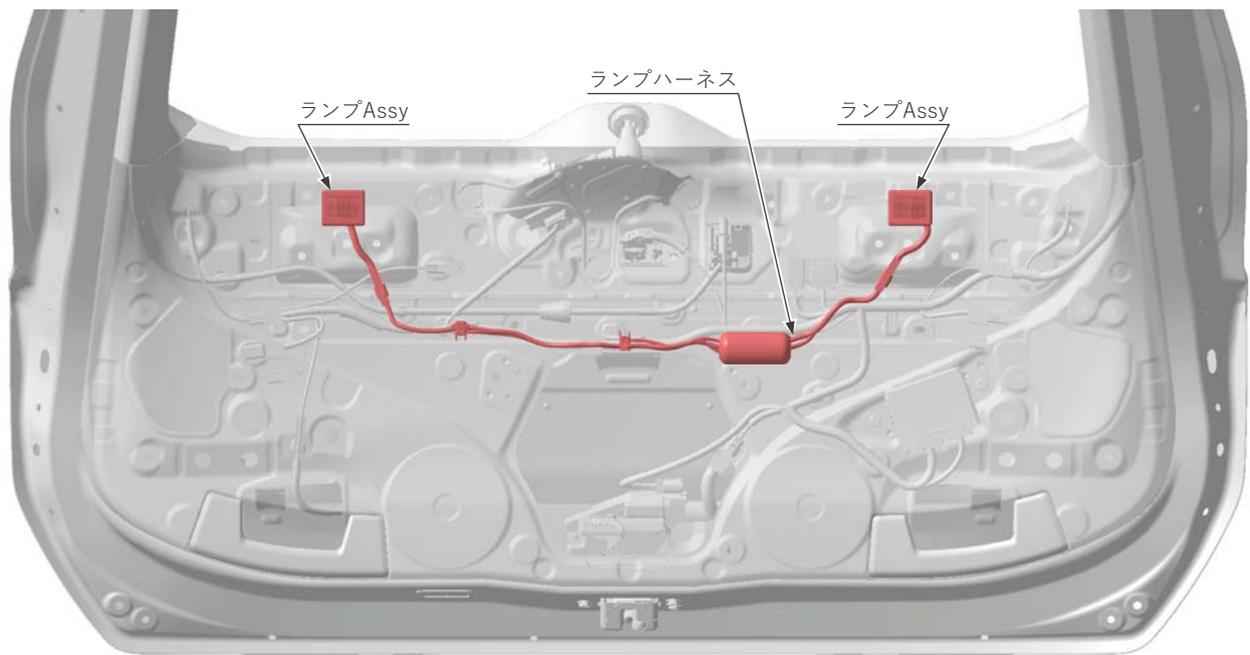
**1** 接続する車両ハーネスがビニールチューブおよびビニールテープで覆われている場合は、適量をカットしてください。

**2** 接続する車両ハーネスを確実にガイド溝へ挿入してください。

**3** 車両ハーネスをガイド溝に収めた後、分岐コネクターを折り返し、仮止め状態を作りプライヤー等の工具を使用して左右のロックがかかるまで確実に挟み込んでください。  
(クリック音を確認)

**4** 分岐コネクター接続位置を、テーピング処理してください。

## 配線概要



## 車両部品の取りはずし



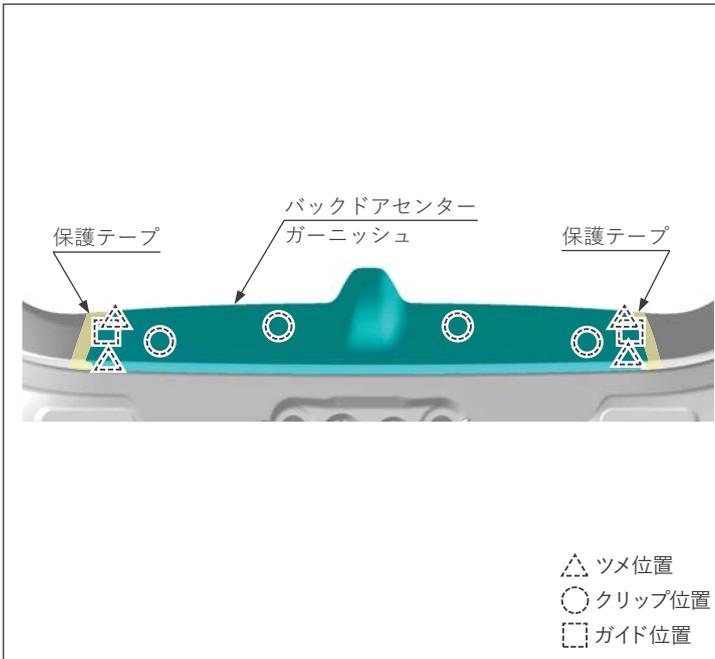
# 1 車両部品の取りはずし

## ⚠ 注意

エアバッグ作動の恐れがある為、バッテリーの(-)端子をはずし、90秒以上経過してから作業を行ってください。

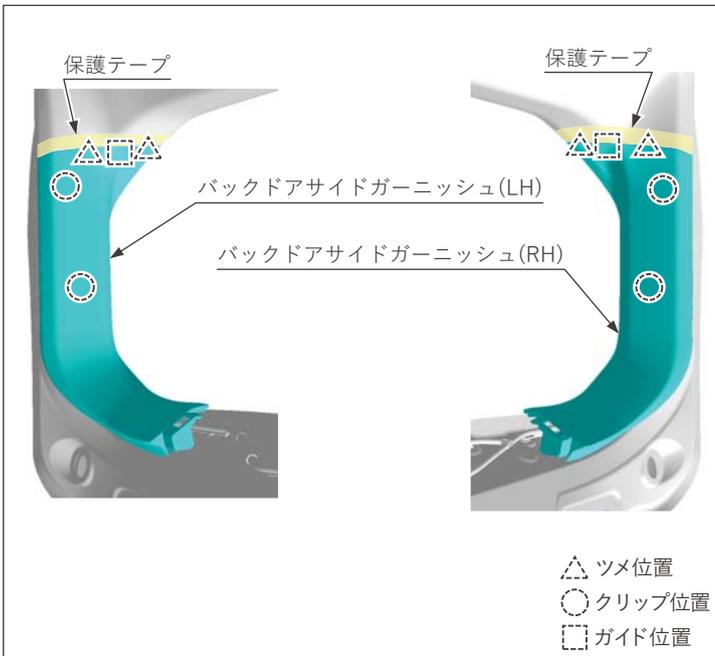
### (1) バックドアセンターガーニッシュ

- ① 図の■位置に保護テープを貼る。
- ② バックドアセンターガーニッシュを取りはずす。



### (2) バックドアサイドガーニッシュ(RH)(LH)

- ① 図の■位置に保護テープを貼る。
- ② バックドアサイドガーニッシュ(RH)(LH)を取りはずす。

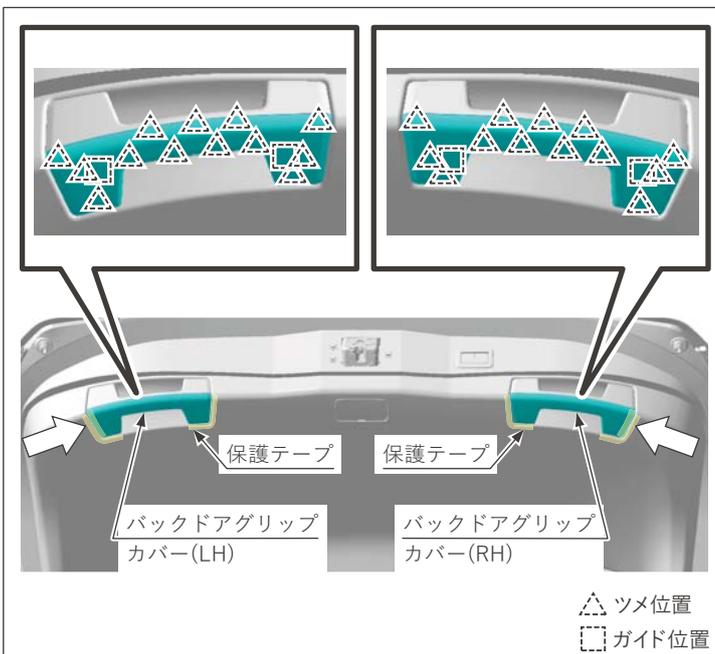


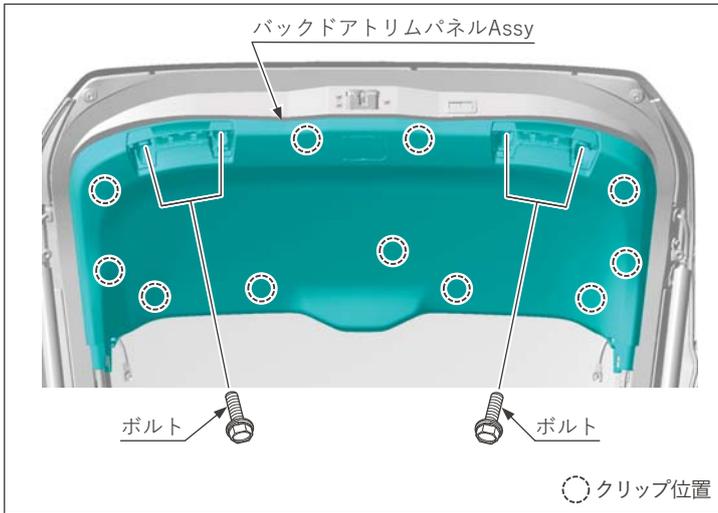
### (3) バックドアグリップカバー(RH)(LH)

- ① 図の■位置に保護テープを貼る。
- ② バックドアグリップカバー(RH)(LH)を取りはずす。

## 👉 アドバイス

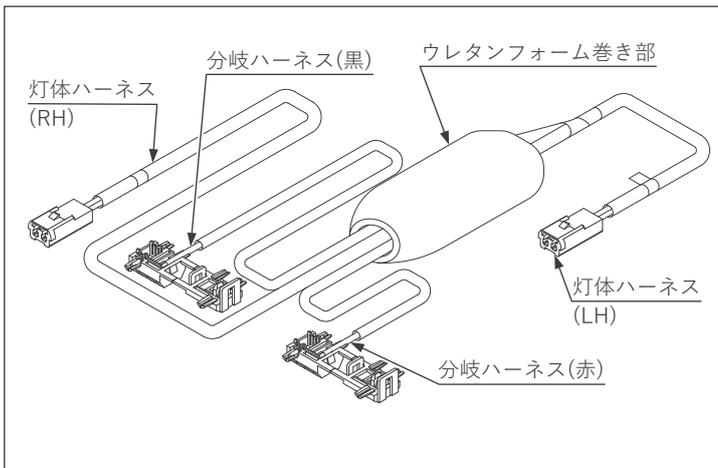
矢印方向にリムーバー等を差し込み、バックドアグリップカバーを少し浮かせてから作業を行ってください。





#### (4) バックドアトリムパネルAssy

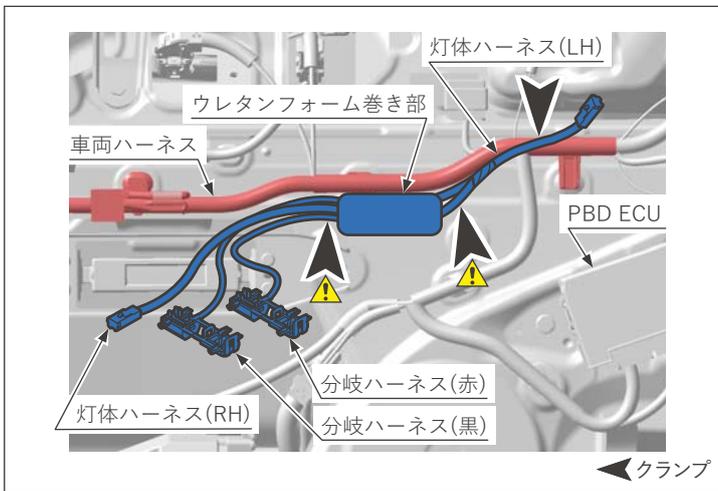
- ①バックドアトリムパネルAssyを取りはずす。



## 2 配線作業

### (1) ランプハーネスの各部名称確認と準備

- ①ランプハーネスの各部名称を確認する。

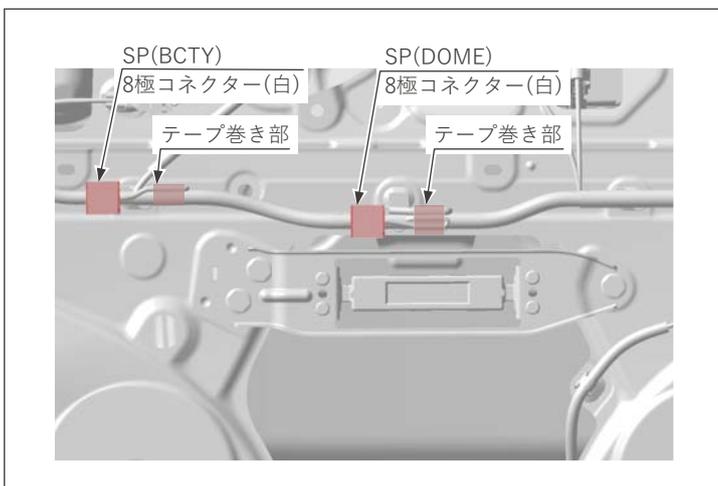


### (2) ランプハーネスの配線

- ①ランプハーネスの分岐ハーネス(赤)、分岐ハーネス(黒)と灯体ハーネス(RH)を図のように配線し、◀位置(1ヶ所)にクランプにて車両ハーネスに固定する。
- ②ランプハーネスの灯体ハーネス(LH)を図のように配線し、◀位置(2ヶ所)にクランプにて車両ハーネスに固定する。

#### 注意

ランプハーネスの素線部には、クランプを固定しないでください。

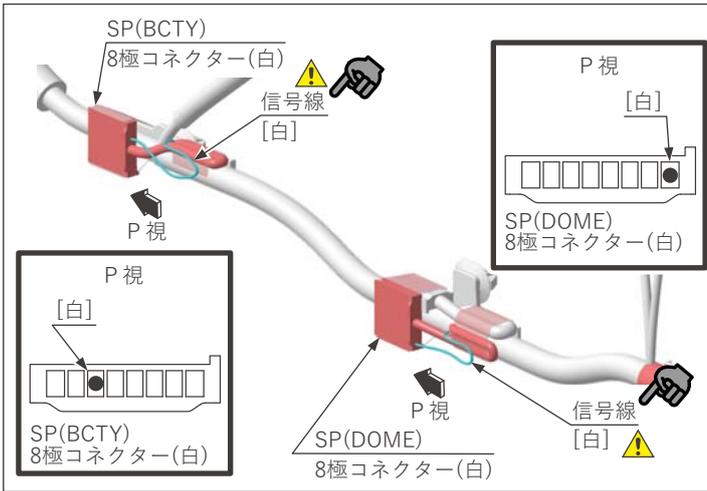


### (3) 分岐ハーネスの接続

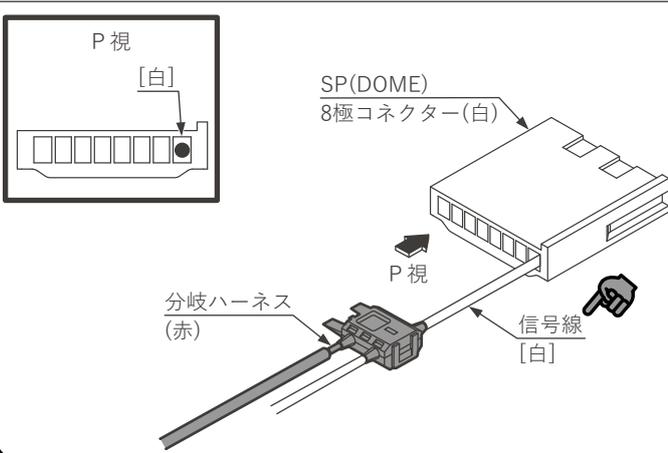
- ①図の位置に示すSP(DOME)の8極コネクタ(白)とSP(BCTY)の8極コネクタ(白)のテープ巻き部を確認する。

#### アドバイス

図はコネクタの位置を示すため、ランプハーネスは省いています。



②図のようにSP(DOME)の8極コネクタ(白)の信号線(白)とSP(BCTY)の8極コネクタ(白)の信号線(白)をP6(3)①で示したテープ巻きから引き出す。



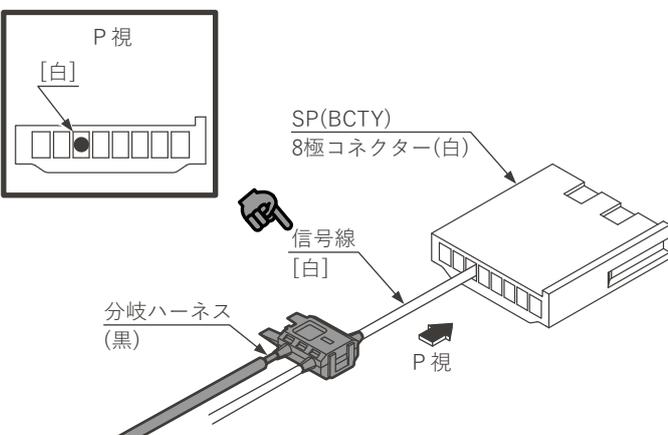
③ランプハーネスの分岐ハーネス(赤)をSP(DOME)の8極コネクタ(白)の信号線(白)に接続する。

注意

車両によってコネクタのピン配列が異なる場合があります。左図イラストは一例です。信号線(白)を確認してから作業を行ってください。

アドバイス

巻頭の分岐コネクタの接続手順をお読みください。



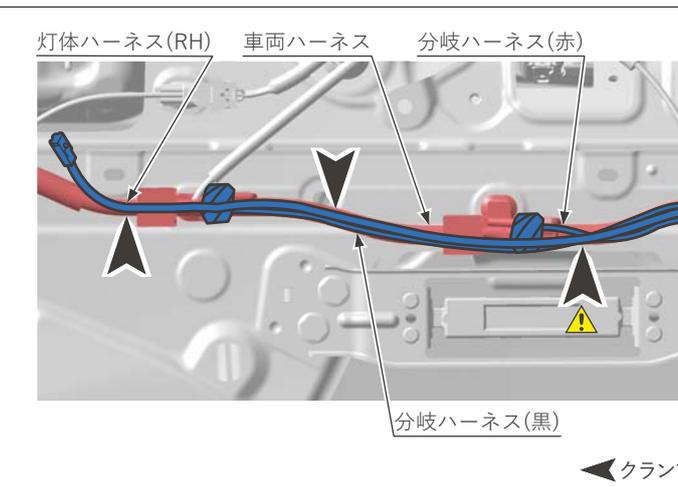
④ランプハーネスの分岐ハーネス(黒)をSP(BCTY)の8極コネクタ(白)の信号線(白)【2本のうちいずれか一方】に接続する。

注意

車両によってコネクタのピン配列が異なる場合があります。左図イラストは一例です。信号線(白)【2本のうちいずれか一方】を確認してから作業を行ってください。

アドバイス

巻頭の分岐コネクタの接続手順をお読みください。



(4) ランプハーネスの配線

①ランプハーネスの分岐ハーネス(赤)、(黒)と灯体ハーネス(RH)を図のように配線し、◀位置(3ヶ所)にクランプにて車両ハーネスに固定する。

注意

ランプハーネスの素線部には、クランプを固定しないでください。

### 3 ランプAssyの取り付け

#### 注意

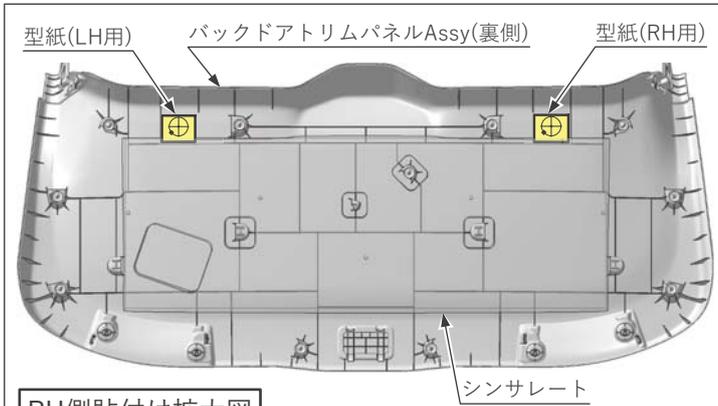
バックドアトリムパネルAssyを加工する際、表面に傷を付けないように注意してください。

#### (1) マーキング作業

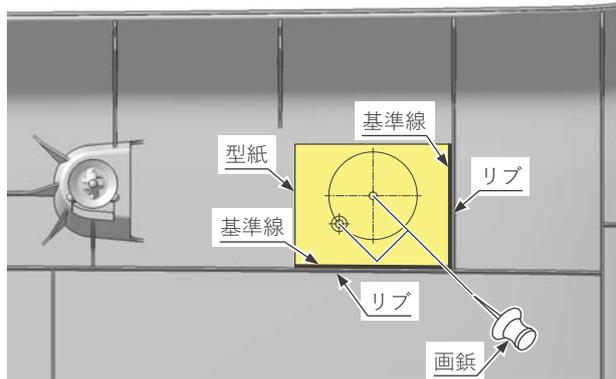
- ①別紙の型紙をそれぞれ切り離し、基準線（太線）をリブに合わせて固定する。
- ②型紙の穴あけ中心(2ヶ所)に、画鋸を使用して穴をあける。

#### 🔧 アドバイス

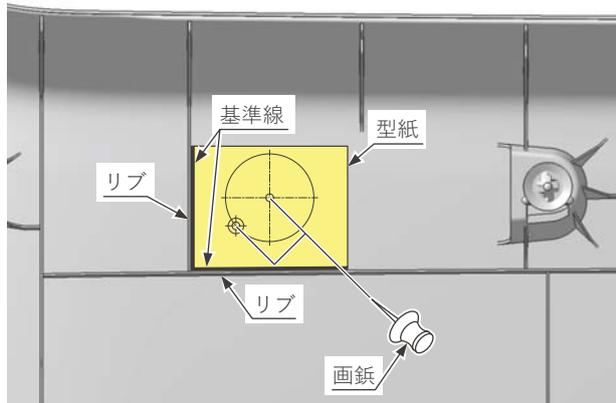
型紙を合わせる際、シンサレートを少しめくって作業を行ってください。



RH側貼付け拡大図



LH側貼付け拡大図



#### (2) 穴あけ作業

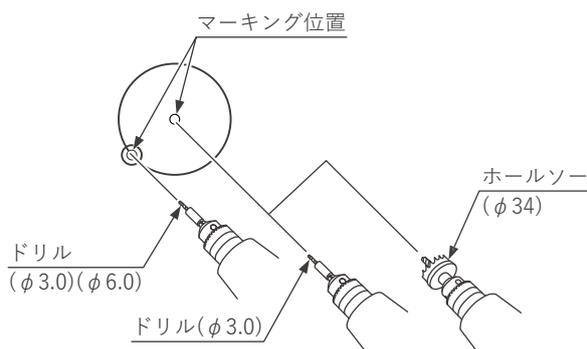
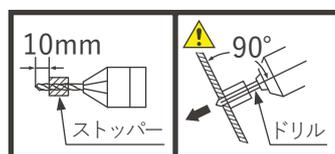
#### ⚠️ 注意

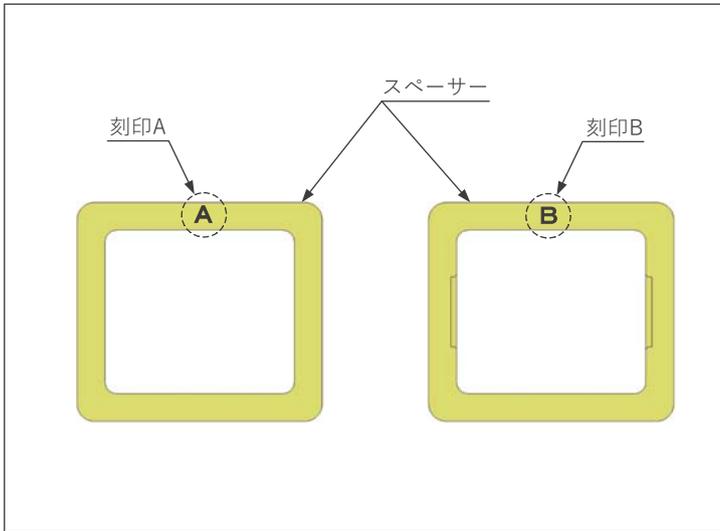
1. ドリル及びホールソーにて穴をあける際、車両部品のR面ですべらせないように面直方向に穴をあけてください。
2. 電動ドリルを使用する際、必ず保護メガネを着用し、ドリルに巻き込まれる恐れがあるため手袋等を着用しないでください。
3. ホールソーにて穴をあける際、シンサレートを巻き込まないように注意して作業を行ってください。

#### 🔧 アドバイス

バリを取る際は、ランプAssyがガタつく恐れがあるため、削り過ぎないように作業を行ってください。

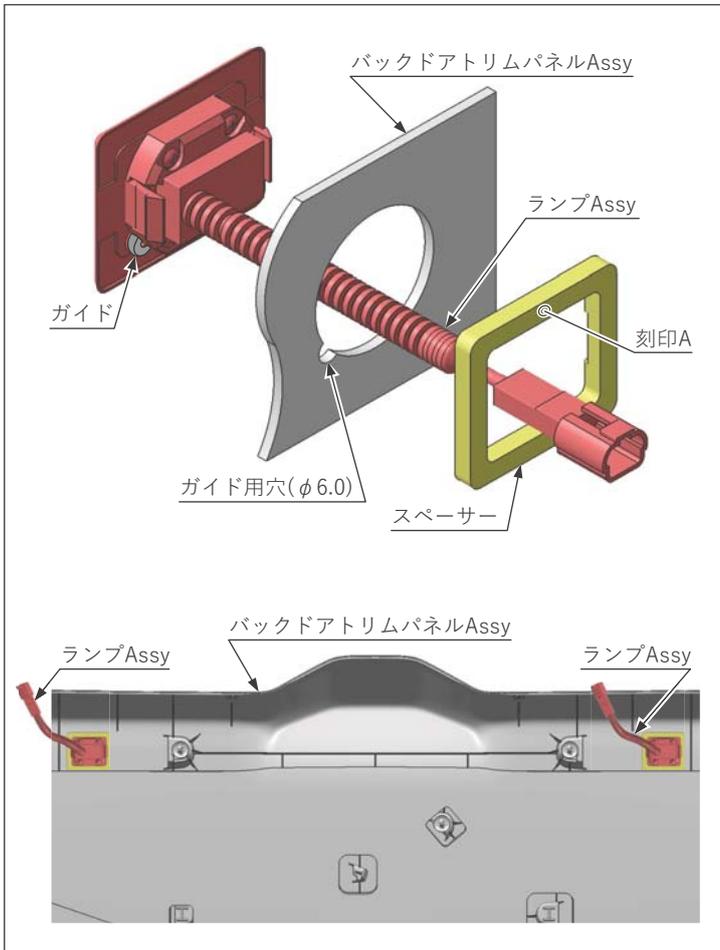
- ①ドリル( $\phi 3.0$ )( $\phi 6.0$ )の先端部より10mmの位置にガムテープにてストッパーを付ける。
- ②マーキング位置にバックドアトリムパネルAssy裏側からドリル( $\phi 3.0$ )にて面直方向に下穴をあける。
- ③下穴にバックドアトリムパネルAssy裏側からドリル( $\phi 6.0$ )とホールソー( $\phi 34$ )にて面直方向に穴をあけ、バリをとる。





### (3) ランプAssyの取り付け

① スペーサーの刻印Aと刻印Bを確認する。



② バックドアトリムパネルAssyにランプAssyを組み付ける。

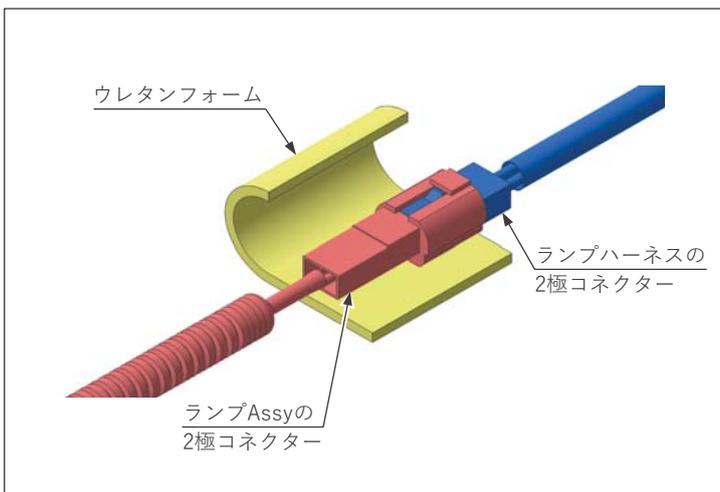
#### 🔧 アドバイス

ランプAssyのガイドをバックドアトリムパネルAssyのガイド用穴に合わせて組み付けてください。

③ 図のようにスペーサーの刻印Aが見えるようにしてランプAssyを固定する。

#### 🔧 アドバイス

1. スペーサーを組み付ける際、「カチッ」と節度感があることを確認してください。
2. スペーサーを組み付け後、必ず刻印Aが見えていることを確認してください。



### (4) コネクタの接続

#### 🔧 アドバイス

コネクタが接続しにくい場合は、バックドアを下げて作業を行ってください。

- ① ランプAssyとランプハーネスの2極コネクタを接続し、ウレタンフォームを巻く。
- ② バックドアトリムパネルAssyを復元する。

## 取付完了後の確認

### 1. 取付の確認

- (1) 配線や取り付けに異常がないか点検する。
- (2) 特に車両ハーネス及び用品ハーネスを無理やり押ししたり、引っ張ったり、かみ込んだりしていないか点検する。
- (3) クランプのはずれや、部品の締め付け忘れはないかもう一度確認する。

### 2. 作動確認

- (1) バックドアを開けると点灯し、バックドアを閉めると消灯する。

## 復元作業

### 1. 車両部品の復元

「作動確認」完了後、取りはずした部品を元通りに取り付けてください。ただし、下記の点に注意して作業を行ってください。

- ・復元作業に伴うハーネス(車両側及び用品側)のかみ込み。
- ・車両部品の損傷。

### 2. バッテリー復元時の注意事項

バッテリー復元作業終了後に、車両システムによっては初期化が必要な場合があります。車両修理書を参考に初期化作業を行ってください。

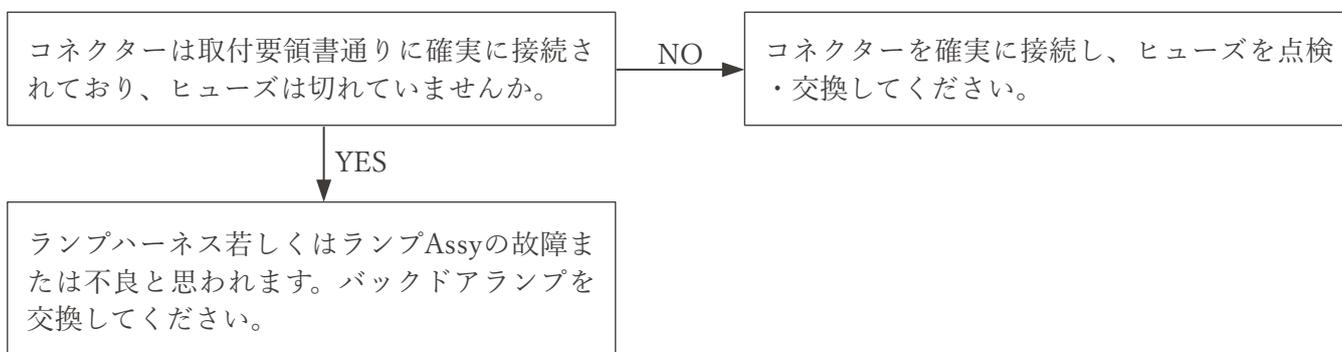
※車両システムの初期化には、GTS+等のツールが必要な場合があります。

## 最終確認

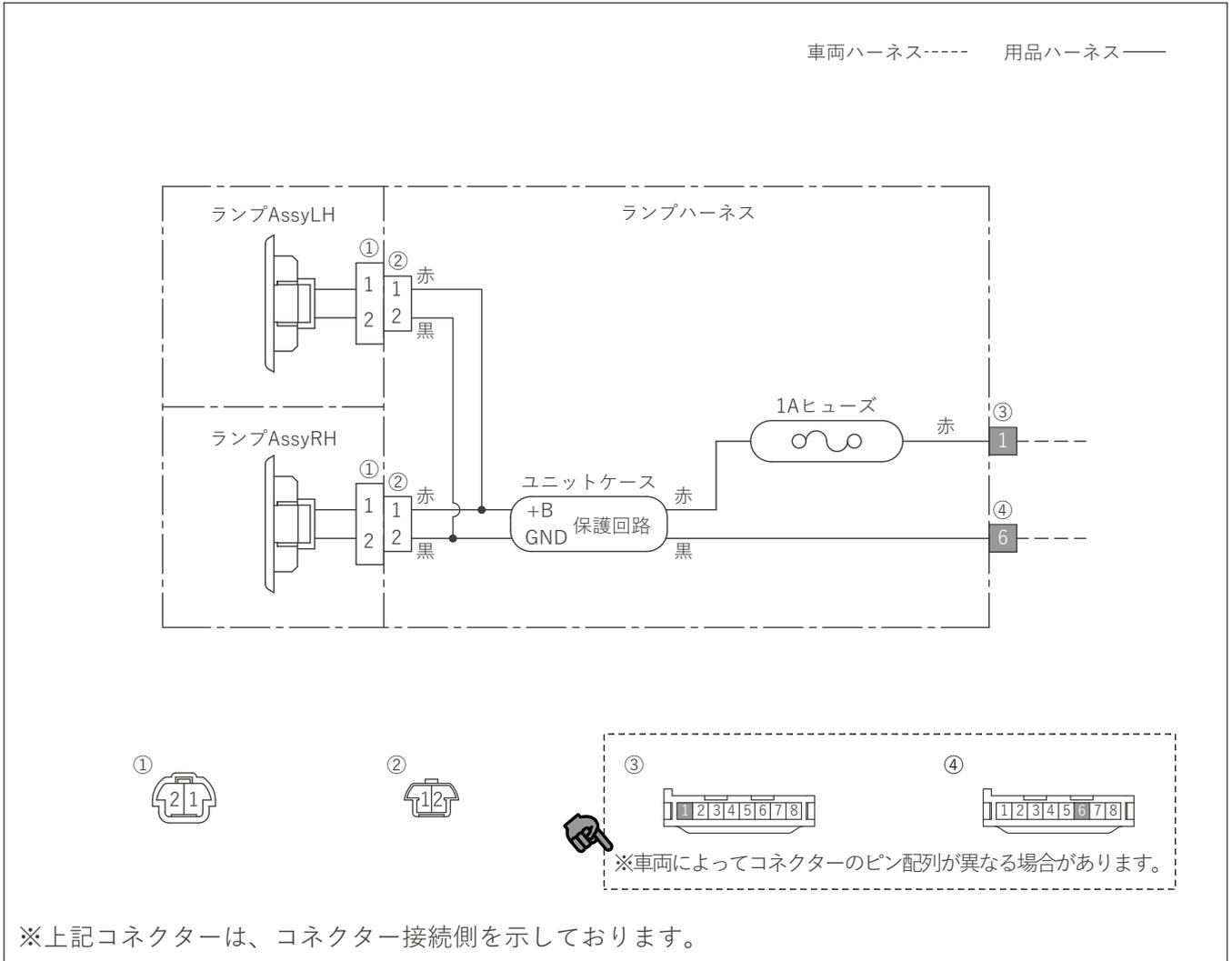
	確認項目	チェック欄
1	取りはずした車両部品は確実に復元されているか？	
2	ランプAssyは確実に取り付けられているか？	
3	用品コネクターの接続は確実か？	
4	クランプの固定は確実か？	
5	固定したハーネスにたるみがないか？	

## トラブルシューティング

### 点灯しない場合



# 配線図



# 仕様

項目	仕様
定格電圧	DC12.0V
消費電流	97.0mA
使用電圧範囲	DC10.0~16.0V
使用温度範囲	-30°C~+80°C
使用光源	LED

※仕様は製品改良のため、予告なく変更することがあります。

取付店殿へのお願い

●必ずお客様に操作要領を説明してください。